

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成30年1月5日発行

1月の主な行事

1月12日(金)

全州市町村社会教育担当者研修会(東部庁舎)

1月22日(月)~2月28日(水)

平成29年度社会教育主事講習[B](まなびタウンとうはく)

社会教育団体活動助成事業について(実践報告)

みささ青空体験塾



東伯郡社会教育協議会の補助事業を活用された2つの団体の報告です。

(代表 特定非営利活動法人 里山地域研究会 田栗泰典さん)

当日は、暑い日だった。魚は9時30分に到着予定だったが、30分近く早まって三朝町牧地区の「桜ツツミ公園」に到着した。川の生態系を乱さないようヤマメをお願いした。昨年は魚が到着してすぐ天神川に放流したが、魚が新しい環境に馴れず、すぐに子どもたちに捕まってしまった。その反省で、放流して1時間程度新しい水に慣れれば、魚は元気になると判断してそうした。案の定、魚は元気よく泳ぎ回って、容易にはつかめなかった。大小様々なヤマメであったが、予定していた数より大幅に少なかった。それでも終了まで時間はそこそこ経過していた。10数匹捕まえた子どもがいたが、0匹の子どもがいなかったのは幸いだった。



8月の猛暑の中、川の冷たさを感じながら、魚を探します。

捕った魚は川下で調理し、公園で待ち構えていた老人クラブの人たちに渡した。町内の老人クラブがボランティアでヤマメを焼いてくれたのだ。暑い日の火の側は大変だろうと思う。協力に感謝したい。この日を迎える準備は大変だった。水量が足りないため、水取口で時間をかけて改良した。そして、川の中の草(アシ)を除去し、周辺の草刈りをし、土壌を作った。7~8人が1日がかかりだった。NPO法人の打合せ会では役割分担などを綿密に計画した。それでも当日は足りないものが出てきて慌てた。全体としてはうまくいったと思っている。

事業目的が「自然体験と親子交流」であったが、目的は十分に達成できた。参加できなかった保護者にも、その日の様子が詳しく伝えられたらと思う。

1日を終えたが、毎回新しく課題が出てくる。100点満点はなかなか取れない。しかし、初期の目的を達成できたことは素直にうれしい。協議会の支援に感謝申し上げたい。



参加した子ども全員が魚を捕ることができました! 10匹以上捕った子も♪

折鶴奉納による平和活動

(代表 三朝町青年団長 河藤正隆さん)

三朝町青年団の年に1度の行事として、少なくとも10年以上続いている「広島への折鶴奉納」を行った。私たちが奉納する折鶴は、主に町内の住民さんや福祉施設の入居者の方、児童等とても多くの方から集められるもので、近年では募集をしなくても夏頃になると私たちのもとに届けられるようになった。それほど、この折鶴奉納が地域に根付いているのだと驚いている。

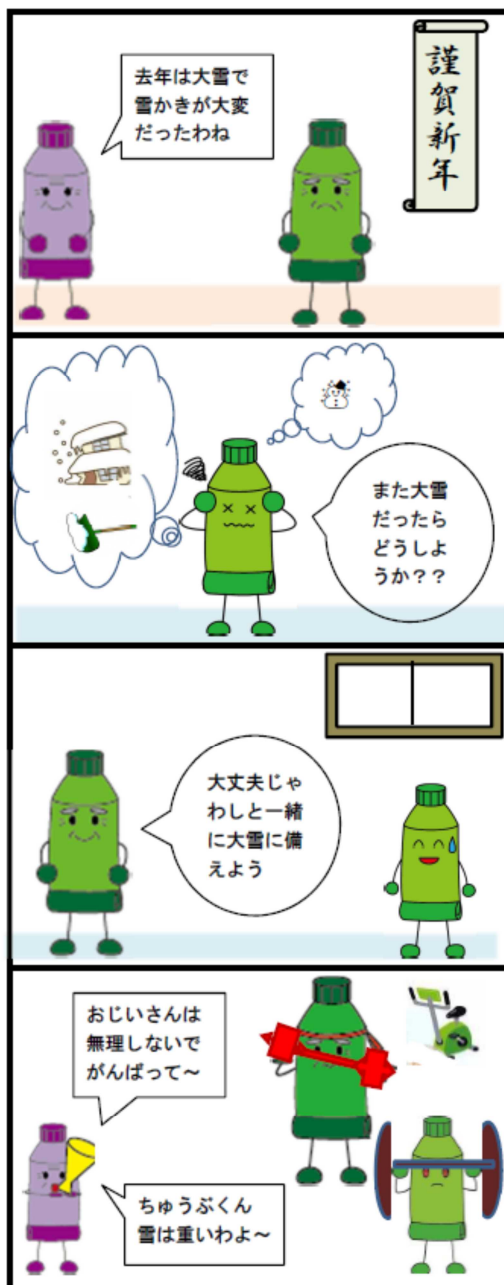
そのようにして集められた約15,000羽の折鶴を、今年は青年団員2名で広島平和記念公園へ直接持参し、無事奉納することができた。折鶴奉納場所は全国からたくさんの折鶴が奉納しており、いつも吊す場所を探さないといけないほどだ。たくさんの人の平和への思いが集まっている場所なんだと感じるとともに三朝町青年団として地域の方々の思いを代表して、奉納することができたことに意義を感じている。



皆さんの思いが
届きますように・・・。

ちゅうぶくん

～大雪にも負けず～



また、昨今、日本は北朝鮮によるミサイル発射の猛威にさらされています。世界的にも核放棄や争いのない世の中に対する思いが改めて認識されていることと思う。私たち三朝町青年団は昭和60年前後に生まれた30歳前後のメンバーで構成されており、終戦からそう遠くない時代を生きてきたと感じているが、あと30年もすれば終戦100年となり、核を日本に2度落とされたという事実が、次第に忘れられていくのではないかとという不安を抱いた。私たちが経験した、おじいさん、おばあさんから戦時中の実体験を聞くということも、これから生まれてくる子どもたちは経験できなくなるのだろう。世界で唯一核兵器が使われた国に生きるものとして、絶対に忘れてはいけないこの事実を、次世代に伝えていく必要があり、その役割を三朝町青年団が担っていく必要があると強く感じた。



これから、私たちも30代、40代と年を取っていく中で、私たちがたくさんの先輩方からこの伝統を引き継いできたように、この伝統を守り、決して途切れることなく次世代の青年団員にバトンを渡していきたい。

【あとがき】

あけましておめでとうございます。新しい年がよりよき年になるよう心より祈念いたします。

さて、今号は東伯郡社会教育協議会の補助事業の実践報告を掲載しました。本協議会では郡内の団体が主催する地域活性化や青少年育成を目的とした活動に対し、助成金を支援しています。是非、御活用ください。

お問い合わせは各町教育委員会社会教育担当までお願いします。

中部教育局 社会教育担当 西村信彦

電話 0858-23-3253

ファクシミリ 0858-23-5203

電子メール nishimuran@pref.tottori.lg.jp